

震災から2年

3月10日・11日に執り行われた 各地の追悼行事

2度目の節目を迎えて…市主催の追悼式開催



↑湯高吹奏楽部が「ファンファーレはやぶさ」など4曲を演奏



↑一般参列者による自由献花も行われ、皆、祭壇に手を合わせた

「3.11いわき追悼の祈りと復興の誓い2013」が、3月10日(いわき芸術文化交流館アリオス)で行われました。市関係者や遺族、一般市民など約1,000人が出席し、東日本大震災で亡くなった方々の供養と、復興への誓いを新たにしました。地震発生時刻の14時46分には参列者全員で1分間の黙とうをした後、市長による式辞、遺族代表者の追悼の言葉、湯本高校吹奏楽部による演奏などが行われました。



↑追悼式には約1,000人が参加



↑1年を振り返るパネル展示も



↑「『日本の復興をいわきから』という強い想いのもと、市民の皆様と心ひとつに力を集結し、全身全霊、持てる力の限り復興に尽くして参る決意であります」と渡辺敬夫市長が式辞を述べました



↑献花をする遺族参加者



↑湯高吹奏楽部員による合唱

久之浜・大久地区 東日本大震災久之浜・大久地区追悼供養開催

3月10日、久之浜町東町の海岸堤防で東日本大震災久之浜・大久地区追悼供養が行われました。主催は3・11の会(久之浜・大久地区復興対策協議会、千日紅の会、市消防団第7支団第4・5分団など久之浜・大久地区の有志により構成)。

供養に使われた花の多くは、インターネットでの呼びかけで全国各地から寄せられたもの。参列者が当日持ち込んだ花もありました。10時から始まった花供養。参列者は東日本大震災で犠牲となられた方々に花を手向け、鎮魂の祈りを捧げました。



↑会場に飾られた久一小・二小児童、久中生らによる「未来へのメッセージ」



↑ふるさと久之浜合唱団による「たしかなる風」の合唱



↑犠牲者と行方不明者の数が用意されたプランターに花を手向け祈る参列者



↑久之浜・大久自安我楽継承会有志と泉崎青年会有志によるじゃんがら供養

四倉地区 道の駅よつから港で「^{あした}ここから未来へ」開催



↑あの日を忘れない。来場者らは震災発生時間に合わせて黙とうを捧げて犠牲者の御冥福を祈り、復興への誓いを新たにしました(3月10日)



↑会場では、沖縄の伝統芸能のエイサーと獅子舞が奉納されました。また、上仁井田じゃんがら保存会が鎮魂の思いを込めた踊りを披露



↑キッズランドでは、NPO法人「ふくしま震災孤児・遺児をみまもる会」主催のイベントが行われ、手形のこいのぼりの製作やパルーションアートなどがあり、子どもたちは大喜び

東北つながる音楽ツアー 国際ボランティアコンサート



↑四倉小学校の体育館にダニエル・ゲーデさんとスィシュー・ゲーデさん夫妻によるヴァイオリンとピアノの調べが響き、来場者は静かに耳を傾けました(3月10日)